

ASAHI MACHI

Public Relations
広報 あさひまち



2025
12

No.829

おいしい芋煮で、
からだぽかぽか



【出席者（敬称略）と各議題】

所 属	氏 名	議 題
朝日町若手農業者の会	白田 憲彦	朝日町の農業について
朝日町建設総合組合	安藤 尚之	戦略的に縮む町づくり ～維持・運営を重視した公共施設の見直し～
//	清野 英樹	
朝日町女性グループ YUKARI	多田 恵理子	女性が輝く町づくり
	佐藤 智穂	
地域おこし協力隊隊員	今野 颯	朝日町の観光について
朝日町事業振興協議会	阿部 佳孝	●人口減少が加速度的に進んでいるが、 人口流出を止める方策はあるのか !!
//	佐藤 欣治	●企業誘致を行なっているものの、 ほとんど実績がないが、何か対策はあるのか
//	渡辺 裕一	

金匱要略



に立ち、町政に関する質問や意見を述べる「町民議会」が町議場で開催されました。多くの町民が議会や町政に関心をもち、町の産業振興や福祉向上などを町と共に考えるきっかけづくりを目的に、初めて開催されたこの議会。当日は町民9人が出席しました。

朝日町女性グループYUKA R I の多田恵理子代表は「日頃から考えていることを公的な場で発言し、直接町に伝えられたことは意義深いものがある。これからも、住みやすいまちづくりについて考えながら行動していきたい」と振り返りました。

本会議の内容は、1月30日配布の「議会だより」および町公式ホームページの録画中継をご覧ください。

町民の生の声を聞く **朝日町町民議会**が初開催

目次 ◎ CONTENTS

- | | |
|-----|--|
| P2 | 町長歳時記 |
| P3 | Pick Up News
朝日町市民議会が初開催 |
| P4 | 特集
いつまでも、食べて元気に |
| P8 | 町政スポット
<ul style="list-style-type: none">あさひ未来学園建築設計に関する
市民ワークショップ除雪隊辞令交付式白田和好さんに感謝状 ほか |
| P10 | まちレポ
<ul style="list-style-type: none">みんなでつくる芋煮会産業用ドローン研修会竜馬が学校にやって来た！ ほか |
| P14 | 第28回ひめさゆり俳句大会 |
| P15 | 清野忠市さんが林野庁長官賞を受賞 ほか |
| P16 | 我ら地域活性化起業人 ほか |
| P17 | それいけ協力隊とウサヒ、町立図書館コーナー |
| P18 | 健康あさひるばんざい、朝日町の神社と御堂 |
| P19 | 戸籍のまど、となりのリンゴさん ほか |
| P20 | HOPEひろば |

表紙の写真



11月30日、送橋公民館で“送橋おっきなお茶のみ会”と題したイベントが開催されました。20回以上続くこの催しは、区の収穫感謝祭も兼ねて行われています。参加した約30人の区民は、芋煮やお弁当を味わいながら交流を深め、にぎやかに過ごしていました。

町長歳時記 (225)

今を大切に生きる ～今があるから未来につながる～

「たとえ明日世界が終わるとしても、今日はりんごの木を植える」これは、非常に有名な言葉で、ドイツの宗教改革者であるマルティン・ルターの言葉です。

「明日世界が終わる」ことなど、今の私たちは想像できないことがあります。「明日があるから生きられる」「今がどんなに辛くとも、明日になればきっといいことが待っている」そう思うことによって、私たちは人生を前向きに生きることができるのだと思うのです。

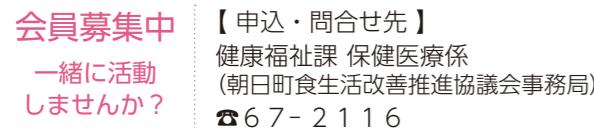
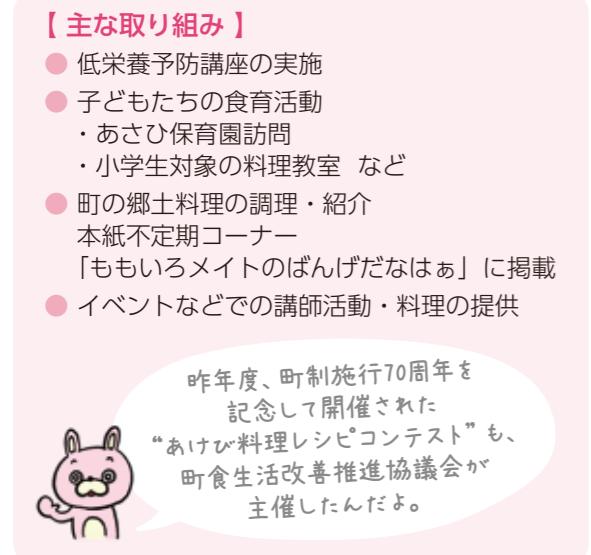
しかし、ここでルターは、敢えて明日世界が終わることを前提とした、今を生きる私たち人間の生き方を示しています。「今を生きる私たちは、どんな未来が待ち受けようとも、今やるべきこと、今できる事を淡々とやり続けることが重要なのだ」と教えているのだと思います。

現代を生きる私たちのほとんどは、明日があることを前提として生きています。明日の予定も、^{あさって}明後日の予定もあり、また十日後、一月後、あるいは一年後にわたって、予定の入っている人もあるかも知れません。中には心躍る喜ばしい予定だけではなく、辛く厳しい閂門を乗り越えて行かなければならぬような、重く気持ちが沈みそうな予定もあるかも知れません。しかしどんな未来であっても、今という現在を通して行かない未来はないのです。

私たち人間は本来、「どうすれば人はより良く生きられるのか」という課題を原点として出発しています。今がどんな状況であろうとも、私たち人間はより良く生きられるための行動に進むものなのです。明日がないと知ったそんな状況の中でも、より良く生きる自分のでき得る最善を尽くそうとする。それが人間本来の生き方です。

今があるから未来につながる。師走年の瀬、今年一年に感謝し、来たる新年に大いなる希望を抱き、世界の平和を祈りつつ、今を大切に生きて行きたいと思います。

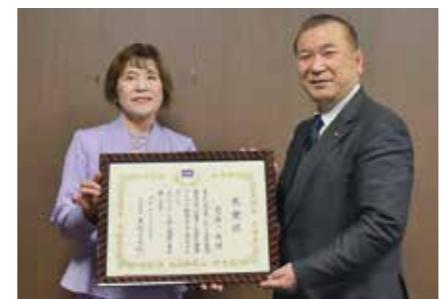
朝日町長 細木洪泰



志藤一枝さんに感謝状

11月17日、長年にわたる栄養・食生活事業への功績が認められ、志藤一枝さん（川通）に県知事から感謝状が贈されました。

町食生活改善推進協議会の会長を務めるなど、町民の健康づくりの維持向上に寄与している志藤さん。受賞にあたり「日頃から支援、協力してくださる皆さんのおかげです。これからも地域の健康と食生活の向上を目指して努力していきます」と語りました。



志藤さん（左）

あさひももいろメイト（朝日町食生活改善推進協議会）

食生活改善推進協議会とは

全国の各自治体に組織されている食生活改善推進協議会。「私達の健康は、私達の手で」をスローガンに掲げ、地域住民のより良い食生活の定着を目的に活動しています。誕生に至ったきっかけは昭和20年代のこと。食糧不足による栄養問題が深刻だった時代に、主婦を対象とした学習会が行われるようになり、

60年以上の歴史をもつ

町の食生活改善推進協議会

その後、厚生省（現厚生労働省）から食生活改善に向けた組織養成の通知が出され、現在の食生活改善推進協議会へとつながりました。主な活動内容は左記のとおり。地区からの依頼に応じた講座を実施したり、子どもたちに向けた食育訪問・料理教室を行ったりと、幅広い世代に食の大切さを伝えています。

その対策に取り組むグループが誕生。ももいろメイト」という愛称で呼ばれ、25人の会員が活動。「おもてなし・おすそわけ・おたがいさま」の気持ちを大切に、ボランティアとして取り組んでいます。

地区の低栄養予防講座に参加した皆さん▶

12月3日に栄町公民館（写真上）、同月6日に大谷第五区公民館（写真下）で町食生活改善推進協議会が主催する低栄養予防講座が開催されました。

参加した地区住民は、町保健師や管理栄養士などによる健康な体づくりに関する講話を聴いた後、栄養バランスを重視したお弁当を調理・実食していました

▼提供されたお弁当

レシピは6・7ページに記載



◀ヘルシー健口教室での調理実習

12月5日に役場調理室でヘルシー健口教室が行われました。この日は調理実習のほか、口腔ケアに関する講話もあり、参加者は食に対しての関心を高めていました



▲完成した料理

特集

いつまでも、食べて元気に

『フレイル』という言葉を聞いたことはありますか。簡単に説明すると、健康な状態と寝たきりの状態の中間を示し、身体が必要とする栄養素を十分に摂取できないことが原因で、体は動くものの物忘れや体力・気力が低下している『虚弱』のことを指します。健康な体を保つためには、食事や運動、社会参加（地域の集まりへの参加など）がポイントとなります。今回の特集では、その中の『食事』に注目。低栄養・フレイル予防に効果的な食事のほか、町民の健康的な食生活をサポートする町食生活改善推進員について紹介します。

しっかり磨いて歯を残しましょう

元気な体を保つには、バランスの取れた食事や運動、そして口腔内の健康も重要です。

永久歯は本来、上下合わせて 28~32 本（親知らず含む）生えているのですが、皆さんの歯は現在何本ありますか。国は平成元年より、80 歳で 20 本の歯を残しましょうと呼びかけています（8020 運動）。令和 6 年度時点での全国の 80 代の約 6 割の方が 20 本以上の歯を残しており、朝日町では 85 歳の 1~2 割の方が達成しています。

歯がないと「食いしばれず転びやすくなる」「唾液が出ず乾燥しやすくなり、食事がしにくくなる」といった影響があります。口は食器と同じで食事に欠かせないものであり、磨かないといけない歯が繁殖しやすくなります。毎食後が難しくても、寝る前などにしっかりと歯磨きを心がけましょう。



介護支援専門員 柏倉 美穂さん

Topic

1日に必要なカロリー

【推定エネルギー必要量 (kcal / 日)】

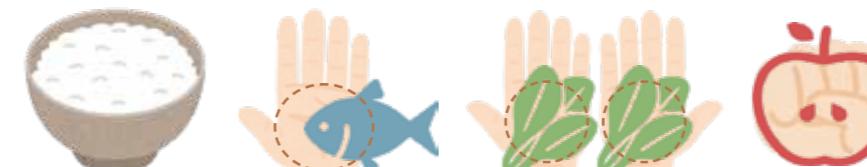
性別	男性			女性		
	身体活動レベル*	低い	普通	高い	低い	普通
18~29歳	2,250	2,600	3,000	1,700	1,950	2,250
30~49歳	2,350	2,750	3,150	1,750	2,050	2,350
50~64歳	2,250	2,650	3,000	1,700	1,950	2,250
65~74歳	2,100	2,350	2,650	1,650	1,850	2,050
75歳以上	1,850	2,250	—	1,450	1,750	—

*身体活動レベル

- 低い … 自宅にて、ほとんど外出しない場合
- 普通 … 自立して生活している場合
- 高い … 肉体労働や外回りが多く、日常的な活動量が多い場合

（参考：厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会報告書）

【1食(1日)にとりたい食事量の目安】※手の平…指の付け根から下の部分



主食（米など）

1食あたり
茶碗1杯
(約150~200g)

主菜（肉や魚）

1食あたり
手の平*
1/2程度

副菜（野菜類）

1食あたり
生：両手の平**に1杯
加熱済：片手の平**に1杯

果物

1日あたり
握りこぶし
1つ分

これまでの時期は特に、野菜の摂取量が減りやすい傾向にあります。また、高齢期の食事には特に、主食・主菜・副菜をそろえることを意識してみましょう。

バランスよく適度な量を



主任管理栄養士
茂木 彩英香さん

1日3食、食べていますか？

健康的な食事は、1日3食食べることが基本であり、そのうえで栄養バランスを整えることが大切になります。皆さん、「ごはんとみそ汁だけ」「おかずは漬物のみ」になっていませんか。

低栄養を予防するためには、たんぱく質（肉や魚、卵、大豆製品、牛乳など）を多く含むものをとることが効果的です。

普段の食事をすぐに変えることは難しいと思いますので、例えば「ごはんとみそ汁だけであれば、ごはんにシラスやおかかをかけてみる」「みそ汁に豆腐を入れる」「デザートにバナナやヨーグルトを付け足す」など、ちょっとした工夫をするだけでもとれる栄養の量は変わります。しっかり栄養をとり、いつまでも健康に過ごしましょう。

低栄養予防ヘルシー健康料理



ここでは、地区の低栄養予防講座で提供された

健康料理のレシピを紹介します。

年末年始のゆったりとした時間に、ご家族みんなで作ってみませんか。



ほっとする和風のうま味

たっぷりきのこの鶏だんご汁



1人あたり…
エネルギー 105kcal / たんぱく質 10.3g / 塩分 1.2g

【材料】（2人分）

- 鶏ひき肉 …… 75g
- はんぺん …… 1/2枚
- 長ねぎ …… 1/4本
- しめじ …… 1/4パック
- えのき …… 1/4パック
- おろしそうが …… 小さじ1/2
- こしょう … 少々
- みつば … 適宜
- だしの素 … 小さじ1/2
- 水 …… 300ml
- 醤油 …… 小さじ1/2
- 塩 …… 少々

【作り方】

1. 長ねぎはみじん切り。しめじ、えのきは根元を切り、ほぐしておく。
2. ボウルに鶏ひき肉、長ねぎを入れ、はんぺんを細かくちぎりながら加える。こしょう、おろしそうがを加えてよく混ぜ、1人3個になるように丸める。
3. 鍋に水を入れて中火にかけ、だしの素、しめじ、えのきを加えて沸騰したら2を入れて3~4分煮る。醤油、塩を加えて味をととのえ、火を止める。
4. 器に盛り付け、2cmに切ったみつばをのせる。

やきとりと卵の相性抜群 かわり親子丼



【材料】（2人分）

- ごはん …… 300g
- 千切りキャベツ … 60g
- やきとり缶 …… 2缶
- 温泉卵 …… 2個
- 小ねぎ …… 6g
- 紅しょうが … 10g

【作り方】

1. 器にごはんを盛り、千切りキャベツとやきとりをのせ、ラップをして電子レンジで温める。
2. 温泉卵を乗せ、小口切りにした小ねぎを散らし、紅しょうがを添えて出来上がり。

1人あたり… エネルギー 490kcal / たんぱく質 23.7g / 塩分 1.3g

いつもよりまろやかな味わい ひじきのごまミルク煮



【材料】（2人分）

- ひじき（乾燥） …… 12g
- にんじん …… 20g
- 油揚げ …… 12g
- 牛乳 …… 140ml
- みりん …… 小さじ 2/3
- 醤油 …… 小さじ 1
- 白すりごま … 4g

【作り方】

1. ひじきを戻し、洗って水気を切っておく。
2. にんじん、油揚げ、ちくわは千切りにする。
3. 鍋に1と2、牛乳、みりん、醤油を入れて火にかけ、弱火でひじきとにんじんが軟らかくなるまで煮る。
4. 軟らかく煮えたら火を止め、白すりごまを混ぜ合わせる。

1人あたり… エネルギー 115kcal / たんぱく質 6.2g / 塩分 0.9g

36人の委員に委嘱状を交付 民生委員・児童委員委嘱状交付式



民生委員・児童委員の活動

- 地域住民からの相談対応
 - 要援護者への支援
 - 福祉施設の清掃ボランティア
 - 各小中学校・保育園への訪問

特別養護老人ホームふれあい荘 での清掃ボランティア▶



中部地区

担当区	氏名	居住地区
本町	鈴木 久美子	本町
西町	南 由美子	西町
栄町	多田 俊司	栄町
助ノ巻・雪谷	布施 とくゑ	助ノ巻
大町	森谷 悅子	大町
大町・緑町	松田 篤子	大町
元町・西原	阿部 淳子	元町
前田沢・新宿	長岡 好	前田沢
四ノ沢	—	—
小原・宿	佐藤 れい子	小原
沼向・平・大隅	菅井 玲子	沼向
古檜・送橋	清野 むつみ	送橋
下芦沢	大滝 俊一	下芦沢
水本	土屋 千鶴子	水本
杉山・松原	松尾 明子	松原
宇津野・大滝	村山 敏子	宇津野

※四ノ沢区担当委員については現在調整中

■西部地区

担当区	氏名	居住地区
常盤	阿部 節子	常盤
夏草・長沼	齊藤 ひとみ	長沼
西船渡	井上 智恵美	西船渡
ハツ沼・高田	佐竹 幾子	ハツ沼
能中	渡辺 きよみ	能中
太郎第一・太郎第二	村山 栄美	太郎第一
太郎第三・石須部	大井 英樹	太郎第三
立木・白倉	阿部 真由美	立木
松程	阿部 政直	松程
大船木・今平	阿部 正好	今平

■ 北部地区

担当区	氏名	居住地区
大谷第一・大谷第二	熊谷 三枝子	大谷第一
大谷第三・大谷第四	鈴木 ふみ子	大谷第三
大谷第五	大谷 武一	大谷第五
大谷第六	白田 千鶴子	大谷第六
大谷第七・中沢	五十嵐 美恵子	中 沢
真中・舟渡	鈴木 好子	真 中
栗木沢・川通	遠藤 まさよ	栗木沢
大暮山	阿部 良子	大暮山
大沼	小林 瞳子	大 沼

主任兒童委員

担当区	氏名	居住地区
西五百川小・宮宿小 朝日中・あさひ保育園	長岡 成	常盤
大谷小・宮宿小 朝日中・あさひ保育園	菅井 弓子	宿

4年後の開校に向けて あさひ未来学園建築設計に関する町民ワークショップ



自分たちの提案を発表する子どもたち

今般1年開校予定の義務教育学校「朝日町立あさひ未来学園」。その建築設計に関する町民ワークショッピングが11月29日、創遊館を会場に行われ、同校の設計案について提案や質問が出されました。

参加者からは「予算面などの都合もあると思うが、子どもたちからも意見が挙がっていたので、でかける限り反映してほしい」といった期待の声が寄せられました。

また、役場や創遊館、西部・北部公民館および各小中学校に、11月28日から12月5日まで設置した意見箱にも貴重な意見をいただきました。ワークショッピングで出された意見と合わせて参考にしながら、引き続き開校に向けた準備を進めています。

冬の暮らしの安全・安心を担う 除雪隊辞令交付式



今年度の除雪計画総延長は国道・県道を含め271・6kmに達し、このうち町が除雪を行う町道は185・1km。除雪ドーザ17台、小型ロータリー除雪車5台、大型ロータリー車・除雪グレーダ各1台の計24台に加え、融雪剤散布車1台、ハンドガイド・パトロール車・作業車各2台を総動員し、積雪時には午前2時30分からの出動に備えます。

長年の選挙管理執行に感謝の意 白川和好さんに感謝状



今年は初の国民参政選挙である第1回衆議院議員総選挙の実施から135周年、25歳以上の男子による普通選挙の確立から100周年、そして女性に参政権が付与されてから80周年にあたります。その節目に伴い、多年にわたり選挙の推進に尽力されてきた町選挙管理委員会の白田和好委員長（大谷第一）へ、総務大臣より感謝状が贈られました。

白田さんは、これまでの管理執行を振り返り「国政選挙、地方選挙を問わず、町民の皆さんに高い関心を寄せていただき、ご理解いただいているおかげです」と感謝の言葉を述べました。



11/14 山形の秋といえば“芋煮”
みんなでつくる芋煮会

松本亭一農舎（常盤）にて、地域おこし協力隊（今野颶隊員、工藤大輔隊員、工藤香織隊員）による“みんなでつくる芋煮会”が開催されました。

参加者は、あらかじめ焚きつけられていた火で具材をじっくりと煮込んだほか焼き芋にも挑戦。紅葉で色付いた周囲の景色を眺めながら、秋の味覚を存分に楽しみました。参加した子どもたちは「おいしくて、いっぱい食べたよ」と満足げに話していました。



11/22
23 町のものづくり技術、大集合！
第46回 朝日町産業まつり

“朝日町産業まつり”と“朝日町りんごまつり（りんご品評会）”が、町民体育館を主会場に開催されました。

町のさまざまなもののづくり技術が集まり、町のイベントで最大の集客数を誇るこのまつり。会場では“りんご品評会”へ出品された最高品質のりんご 56 点が並んだほか、町内の事業所などによる物産品コーナーや、友好の町として交流している宮城県七ヶ浜町、物産交流のある気仙沼市本吉町による海産物コーナーなどが設けられました。さらに、りんご釣りやきのこの菌打ち体験、チェーンソーアートの実演ブースもあり、来場者は町の産業を身近に感じながら楽しんでいました。



▲ボランティアサークル“きらり”に加入している朝日中学生と町社会福祉協議会による、小児がん支援のためのレモネード販売や赤い羽根共同募金運動も行われました



子どもたちは知っている合唱曲が流れるとき立ち上がって一緒に歌っていました▶



※来年は西五百川小学校での開催が予定されています

▼ 第45回りんご品評会結果一覧(出品数 56点) ▼

最優秀賞	村山 茂雄	大谷第七
優秀賞	白田 憲彦	大谷第三
金賞一席	菅井 誠吾	沼 向
金賞二席	村山 征一	大谷第七
金賞三席	阿部 炙吉	常 盤

※銀賞・銅賞・奨励賞については、出品番号順になります。

銀 賞 (5点)	阿部 智彦 夏 草 志藤 一夫 川 通 海野 師輝 能 中 遠藤 隆弘 栗木沢 海野 清一 ハツ沼
奨励 賞 (10点)	菅井 恒好 沼 向 齊藤 利彦 夏 草 川口 明子 大谷第二 齊藤 一馬 夏 草 成原 誠 新 宿 菅井 英幸 沼 向 佐藤 純一 小 原 長岡 秀昭 前田沢 鈴木 和夫 大 隅 遠藤 幹子 栗木沢 菅井 勇輝 沼 向
銅 賞 (5点)	阿部 真和 夏 草 堀 敏男 大谷第七 井澤 壽一 夏 草 菅井 勇輝 沼 向



11/23
24 遊んで楽しむ旬のりんご
りんごちゃんまつり

りんご収穫の最盛期である 11 月中旬～下旬。子育て支援センターあさひでは、この時期に合わせた“りんごちゃんまつり”的イベントが開催されました。

まつりでは、センター内がりんごの装飾で彩られ、りんごのまり入れやりんごを模したボールプールのほか、りんごの形のバッグを手づくりする制作コーナーも設置されました。町内外から訪れた親子は、赤や緑のりんご色に彩られた特別な空間を楽しんでいました。



12/1
~12
“スマサポ号”で分かりやすく説明
スマホ使い方教室

ソフトバンク株式会社が運用する移動型スマホ教室のための車両“スマホなんでもサポート号”が、役場駐車場に置かれました。

地域おこし協力隊の丸岡正信隊員と桑山るり子隊員が企画したこの教室。同車両内にはモニターやタブレットが搭載されています。参加者はオンライン講師と車内のスタッフからスマートフォンの使い方を学び、「使用時の悩みを親切に教えていただき有意義な時間だった」と振り返っていました。



▲“朝日音頭”披露の様子

12/2
今年は朝倉さやさんが歌唱
朝日町高齢者福祉大会

創遊館ホールを会場に朝日町高齢者福祉大会が開催され、町内の長寿クラブの会員をはじめ65歳以上の町民約250人が集いました。

冒頭の表彰式では、2個人の功績がたたえられました。続く公演の部では、山形県を代表するシンガーソングライターの朝倉さやさんのコンサートを実施。凛とした歌声は参加者の心をつかみ、“朝日音頭”を朝日柳香会の踊りとともに披露した際は、来場者も一緒に踊りながら楽しんでいました。



11/27
“KODAMA”ブランドの華やかなリース
クリスマスリース販売

道の駅あさひまちりんごの森で、朝日中学校特別支援学級“こだま学級”的生徒が、校内で集めた木の実などを材料に製作したクリスマスリースを販売しました。

当日は100個のリースが販売され、生徒は「特大サイズの製作が大変だったが昨年より豪華になるよう頑張った」「松ぼっくりに色を塗ったり色のバランスを考えたりと工夫したので注目してほしい」と笑顔。購入者からは「とてもかわいくて購入した。良いクリスマスになりそう」といった声が寄せられました。



11/27
先輩の合格を願って
合格りんご収穫作業

朝日中学校1年生が、町のりんご園で“合格りんご”を収穫しました。

表面にシールを貼り光を遮ることで、絵や文字を浮かび上がらせる合格りんご。1年生は受験を控える3年生を応援するため、春から作業に励んできました。当日は町農林振興課職員の指導のもと、慣れた手つきで約200個を収穫。合格りんごはシールをはがし、12月中旬に応援メッセージとともに3年生へ手渡されます。



11/30
大沼の浮島名勝指定100周年記念
俳句 de トーク
in あさひまち

大正14年10月8日に県内で初めて国の名勝地に指定された大沼の浮島。今年、その指定から100年の節目を迎え、7月には記念式典が行われました。

11月30日には創遊館ホールで、名勝指定に関わりの深い“俳句”にちなんだイベントが開催されました。第1部では、6月から10月にかけて行われた俳句大会で金賞を受賞した方への表彰を実施。大会は県内有数の俳人に選句を依頼し、金賞は小中学生の部・一般の部それぞれ町内外に住む4人に贈られました。

第2部では、お笑い芸人の本坊元児さん（ソラシド）と村上健志さん（フルーツポンチ）、現代俳句協会評議員の佐竹伸一さんによるトークセッションが行われました。3人は、大沼の浮島の歴史と俳句とのつながりについて対談。俳句に精通する村上さんは「自慢の地を俳句を通して知ってもらうことができてうらやましい。その場面にこうして立ち会えて光榮に思う」と、浮島の歩みに関心を示していました。



3. 浮島の句を詠んだ村上さん。色紙は来
場者3人にプレゼント
1. 創遊館ギャラリーに浮島稲荷神社に奉納される文化財が展示
2. 3.



令和6年11月25日からボツワナ共和国に海外協力隊^{*}として派遣中の菅井嘉代さん
(元朝日中学校特別支援学級教職員／小原区)が、現地での生活などを語ります。

※独立行政法人 国際協力機構「JICA」による取り組み。

このほかの活動記録はこちら▶



第4回 日本と変わらない？ボツワナでの暮らし

ドュメラン！(現地語でこんにちは)

アフリカで生活して1年が経ちました。今回はボツワナの暮らしについてお伝えします。

私が住んでいるモレポロレの人口は7万人ほどで、村と呼ばれています。ショッピングモールが数カ所あり、多くの人が自家用車（日本の中古車）を持つ車社会です。

ボツワナではほとんどのものが手に入ります。隣国である南アフリカ系列の大手スーパーが多数あり、品物も悪くはありません。また、中国人のお店も多く、中国製の家電や雑貨、服なども購入できます。物価は日本とほとんど変わりません。

私の家は公務員宿舎で、平均的な平屋の1LDKです。庭が広いので草むしりが日々の日課です。野放しにされている牛やヤギが草を食べに来ることもあります。たまに電気や水が止まることがあります。そんな時にアフリカに

いることを実感します。近所には近隣の村から単身赴任している公務員のボツワナ人女性も多く、お互いに洗濯物を干しながら雑談することもしばしば。

アフリカでののどかな暮らしは、朝日町と似ているなと思います。



◀右側半分が私の自宅。右にある大きなタンクに雨水をためており、断水時に使用します



◀近所の人の結婚式に参加。新郎は車いすの方です。とてもアットホームな式でした

【お知らせ】美術作品の展示会“アートツリーやまがた”にて、ボツワナの生徒の作品が60点ほど展示されます。
ぜひ、ご来場ください。開催期間：令和8年2月8日（日）～3月1日（日）／会場：寒河江市美術館



安全なスマホ利用のために

デジタルサポート推進員

丸岡 正信（東京都出身）

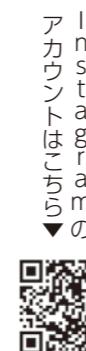


県が発行するチラシ

フォローよろしくお願いします！

にぎわい創出推進員

工藤 大輔（西川町出身）



Instagramのアカウントはこちる▼



スマートフォンを悪用した特殊詐欺が増えています。今は、主な詐欺の手口を紹介します。まずLINEを使つた投資詐欺。「必ずもうかる」と説いて、入金後に連絡が取れなくなる被害が増えていきます。

次に広告を悪用した詐欺。格安商品や副業募集などの広告をタップすると偽通販サイトに誘導され、商品が届かず個人情報が盗まれる危険があります。最後にフィッシング詐欺。SNSやメールから偽サイトへ誘導し、IDやパスワードが盗み取られます。不審な連絡や広告には注意を覚えたら家族や警察（#9110）へご相談ください。

着任から1年半が経ち、活動も折り返しとなりました。これまで「自分にできること」を考える中で、朝日町の公式Instagramを活用し

た情報発信に力を入れてきました。町内の方はもちろん、町外で暮らす方にも、映像や写真を通して町の魅力や、「今」を届けたいと思っています。イベントでカメラを構える私を見かけた方も多いかもしませんが、まさにそのためです（笑）。来年度は、皆さんと一緒に楽しめる企画にも挑戦したいと思っています。ぜひフォローして応援していただけるとうれしいです。よろしくお願いします。



我ら地域活性化起業人



町で活動する県外の民間人材が、自身の活動や町民の皆さんへの呼びかけなどを掲載します。

特産品を通して魅力を発信

【今月の担当】株式会社 COCOL 伊藤 理花



▶産業まつりで配布した限定ステッカー



取材にご協力いただいた生産者（右）

また、11月22日、23日に開催された産業まつりでは、限定ステッカーやチラシを制作しPRを強化。ふるさと納税の公式会開催により、半年で100チームで毎月定例会を重ねながら取り組みを進めています。また、町内事業者向けの説明会も毎月進めています。



今後も町の魅力を全国へ届けられるよう、取材や情報発信を進めてまいります。

今後も町の魅力を全国へ届けられるよう、取材や情報発信を進めてまいります。



「ほんのむしのメメちゃん」

メメちゃんは、本棚で「ちいさいほん」を読んで暮らす、ほんのむし。「おおきいほん」がほんのむしになってしまったメメちゃんは、その「ちいさいほん」を探して、本の交換会、専門家の研究室、印刷所をたずねてまわります。

【ブックテーマコーナー】
サンタからの
すてきなプレゼント

「石原家の兄弟」

石原伸晃・石原良純・
石原宏高・石原延啓
新潮社
文澤堂 作

町立図書館新刊案内

【その他の新刊】

「ほしよりこ 絵著」
杉子女王

私は、自他共に認める事件体質である。ささいなことから、日常的にいろいろ起こる事。ほしよりことのスペシャル対談も収録。「京都新聞」連載他を加筆・補整。

「飼い犬に腹を噛まれる」
絵著

「その他の新刊」

▼ナモナキ生活はつづく／地はるな／城戸川りょう
吾も老の花／寺佐和子
▼高宮麻綾の退職阿寺長上・下／近衛龍春
▼軍師秀一
▼ちやや
▼最豊臣の人々上・下／司馬遼
▼後の一色上・下／和田竜里
▼さよならジャバウオ
▼太郎▼変な地図／雨穴
▼道ヶチャイコフスキー／中山オツ七
▼高健メシ！／鎌田實
▼パンチラインの言語
▼野菜と145のレシピ／高健
▼最終のクルマ選び／温水
▼高健メシ！／鎌田實
▼野菜の学／川添愛
▼ボクのいろ／板垣李光人
▼デイズリー／ブリノ
セスユウキが20の人はな
し（5 Minutes Stories）—夢をかなえた7人の
プリンセス／デイズニープリン
セスラブ&キューと編集部
ジエームズ・フローラ



モンテディオ山形の大森真吾選手と榎本啓吾選手が町へ表敬訪問

12月2日、モンテディオ山形の選手が表敬訪問のため町を訪問しました。

この訪問は、今シーズンの終了に伴い、日頃のクラブへの支援・協力に対して選手が直接感謝を伝える機会として行われたもので、同クラブの選手たちが県内35市町村を訪問。朝日町には当町のアンバサダーを担っている大森真吾選手（No.23）と榎本啓吾選手（No.27）が来町しました。

二人は「チームとしても個人としても成長できた年でした。これからもさらに成長して、地域を元気づけられるように貢献したいです（大森選手）」「結果として悔しい年でしたが、成長できた年だと思います。日々頑張ってこれたのは地域の皆さんのおかげです（榎本選手）」と、今シーズンを振り返りつつ感謝の思いと今後の目標を語りました。



町に訪れた榎本選手（右）と大森選手（左）。サインは町教育委員会事務室（創造館）に展示していますのでぜひご覧ください。

戸籍のまど

Asahi town

11月1日～11月30日届出



Births

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
常盤	東海林 蒼緒	男	怜・奈津美

Marriages

おしあわせに

石井 康博 (茨城県)	吉田 沙織 (大谷第六)
----------------	-----------------

Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
新宿	佐藤 隆子	利行
栗木沢	遠藤 しづ	正人
雪谷	鈴木 義隆	本幸
常盤	大井 みちよ	一人
舟渡	五十嵐 之雄	雄行
大船木	佐藤 昭一	雄弘
助ノ巻	海野 恵美子	恒志
元町	稻村 幸子	光弘
石須部	長岡 孝子	隆宏
大町	安藤 くによ	守司
助ノ巻	鈴木 美和子	
太郎第二	児玉 義一	
助ノ巻	鈴木 雅人	
大谷第三	白田 ヒデヨ	

掲載を希望しない場合は
届け出の際に申し付けください

Population

人口と世帯数

●令和7年 11月30日 現在
※()内は先月比

人口 5,631人 (-28)
男 2,825人 (-10)
女 2,806人 (-18)
世帯数 2,270世帯 (-10)

----- 11月中の異動 -----
出生 1人 転入 0人
死亡 16人 転出 13人
(※外国人を含む)

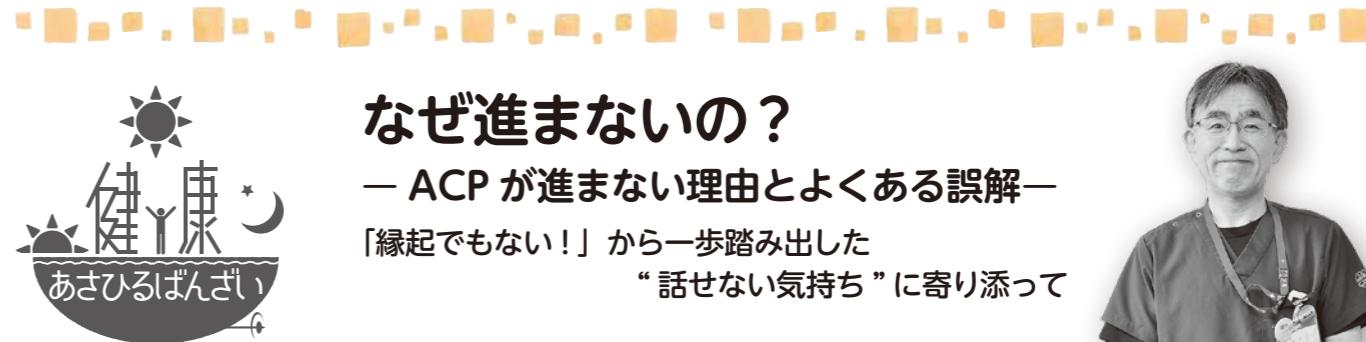


寄付採納報告



クマをはじめとした鳥獣による農作物への被害が深刻化する昨今。その対策として12月2日、さがえ西村山農業協同組合（安孫子常哉代表理事組合長／寒河江市）より鳥獣捕獲用箱わな3基を寄贈していただきました。

箱わなは、来年以降の鳥獣被害対策実施隊の活動に使用されます。



なぜ進まない?

— ACPが進まない理由とよくある誤解 —

「縁起でもない！」から一步踏み出した
“話せない気持ち”に寄り添って

【令和7年度 第9回】今月の担当 … 高橋 潤 朝日町立病院院長

人生会議（ACP）。いう言葉を聞くと、多くの方が「まだ元気だから関係ない」「縁起でもない話はしたくなかった」と感じるのではないでしょか。実際、ACPは大切だと分かっていても、家族と話すきっかけがつかないという声をよく耳にします。話しづらさには、いくつか共通した理由があります。

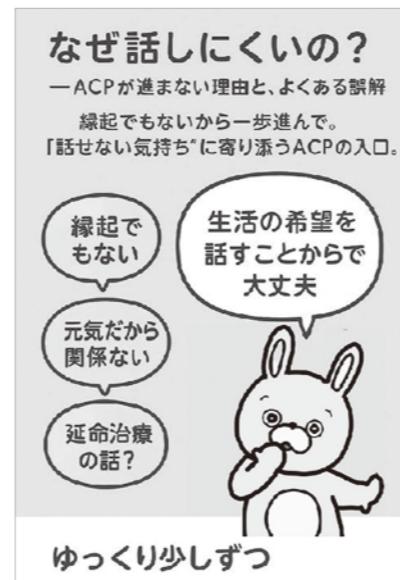
一つは「家族に心配をかけたくない」という優しさです。重い話題を持ち出したくないという気持ちから、本音を言い出しがくなってしまうことがあります。また、ACP延命治療の話」と受け止められることが多く、どう切り出していくか分からないといふ戸惑いもあります。

大切なのは、完璧に決めることではなく、気持ちを少し重めにしておくこと。次回は、どんなことを話せばよいのか、日常の会話から始められるACPの進め方をご紹

介します。

▼朝日町立病院

67-12125



なぜ話しにくいの?

— ACPが進まない理由とよくある誤解 —

「縁起でもないから一步進んで。
『話せない気持ち』に寄り添うACPの入口。



ゆっくり少しずつ

にわたり 第32回 二渡神社 (栗木沢)

【所在地】栗木沢地内、大谷川に架かる二見橋の北側にある

朝日町の神社と御堂
——町全体が博物館——朝日町工コムジアム——

横に広い社殿に入ると、中央にしっかりした造りの内陣があり、中には大小二つの白い自然石が祀られています。二渡の神は川の近くにあることが多い、河川を行き交う舟の安全を祈ったとされていますので、ここも最上川との関わりがあったものと考えられます。

創建については不明ですが、享保七年（1722）に栗木沢村の佐久間甚三郎が奉納した絵馬「繫馬図」があるので、それ以前から祀られていたものと思われます。また、年代は分かりませんが二羽の鶴が描かれた絵馬が奉納されており、民間信仰として、とりしゃぶき（百日咳のこと）を治す神として尊崇されていたことを示しています。

うさひのゆるっと解説

大谷川が最上川に流れ込む辺りは船着き場として、最上川を上り下りする舟が休んだり荷物の積み下ろしをしていたとされているんだよ。また、明鏡橋が架かる前は向かいの大谷村（今の大隅地区）との渡し舟も運行していたんだよ。





大谷小の児童と参加した地域住民の皆さん



1. 協力してペタペタ
2. どんどん色付く台紙
3. 全員が思いを記載
4. コツを伝える児童
5. 出来栄えをみんなで確認

よおやに広がれ！きずなの「わ」

HOPEひろば 11.18 火 in 秋葉山交遊館

大谷小学校の5・6年生が授業の一環で、地域住民と交流を深めることを目的としたイベント“HOPEひろば”を開催しました。児童は、ものづくり・スポーツ・ゲームのチームに分かれて、さまざまなイベントを企画・運営しています。

2回目となる今回は、ものづくりチームが担当し、参加者と一緒に“ちぎり絵”で同校のシンボルである“ほうき松”を作りました。「準備が大変だったけれど、地域の人たちと一緒に作業ができて楽しかった」と振り返りました。

雪も降り、いよいよ本格的に冬が訪れました。寒くなつてると風邪もひきやすくなりますね。今号の特集では、寒い時期でも元気に過ごしていただけるよう、低栄養予防に焦点を当てて記事をまとめました。6・7ページにレシピを記載した料理は、栄養バランスや減塩に配慮されており、低栄養予防にもぴったり。どなたでも食べやすいような優しい味わいとなっていまので、ぜひ一度お試しください。

春夏秋冬 編集後記

年末年始は
いかが過ごされますか

12月も半ばに入り、今年も残りわずかとなりました。今年1年、皆さんはどんな年でしたか。私は広報担当となつてから3年が経とうとしていますが、まだまだ町のことを知りきれていないと実感した年でした。同時に、取材を通して多くの考え、学ぶことができました年もあります。来年も精進してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

岡崎
陽果

ホームページ▶



Instagram ▶



町公式ホームページ内“まちの写真館”および町公式Instagramには、本紙の記事に関連した写真や動画を掲載しています。ぜひご覧ください